

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

六月三日(月)・四日(火)

午前九時半・午後一時半より

永代祠堂経法要

※ 昼食にお齋を用意しております



今号の法語

花びらは散っても
花は散らない
形は滅びても
人は死なぬ

金子大栄



今号の内容

- ・永代経のお齋をお楽しみに♪
- ・広濟寺探検隊！〜お寺の銀杏〜
- ・千夏のきときと日記
- ・住職コラム
- ・風呂敷で包んでみよう！〜仏婦の集い〜



昨年の十月末に前坊守が往生して、早くも七ヶ月が経ちました。家族が一人いなくなるというのは寂しいことですが、時が経つにつれ、新たな日常にも慣れてきたところです。

前坊守は、もうすぐ四歳になる娘(前坊守からみれば曾孫)の面倒をいつも見てくれていました。小さな娘にとっては、九十八歳のひいばあちゃんが一番良い遊び相手だったようで、友だち同士のようにケンカすることもしばしば。いつも娘と同じ目線で接してくれていたからなんでしょうね。

そんなかわいいケンカも今では見られなくなってしまうかもしれませんが、ことあるごとに娘は「ひいばあちゃん」との話をしてくれます。その話を聞く坊守(前坊守の娘)の嬉しそうなこと。家族も皆が笑顔にさせてもらっています。

今は亡き前坊守が、仏さまとなつて今度は私たちの今を育ててくれているようです。

輪島市門前町にて



永代経のお齋をお楽しみに♪

今年も永代経の季節になりました。永代経は、亡き方々を偲び、仏さまのみ教え(経)を永代にわたつて大切に受け継いでいきたい、という願いから勤められる法要です。ご往生された方々をご縁に勤めるため、報恩講に次ぎ、年に二番目に大きな行事となっております。



さて、お齋とは「お食事」とのこと。今年のお齋はなんと「カレーうどん」を予定しています。実はこの「カレーうどん」、理由がありまして、広濟寺仏教婦人会が活動した能登半島地震の炊き出しメニューなのです。レシピ作りのため、カレーうどん漬けの日々を経て提供した幻のメニュー。皆さんにもぜひ味わっていただきたく、今年のお齋法要で提供させていただきますことになりました♪
せつかくお寺に来ていただく時間です。皆で楽しく過ごしていただきたいと思います。

広濟寺探検隊！

くお寺の銀杏(イチョウ)く

今回は広濟寺のランドマークでもある二本の銀杏(イチョウ)のお話です。今回は広濟寺のランドマークでもある二本の銀杏(イチョウ)からです。今も昔も、火事は大きな恐怖。それを防ぐため、いわば防火林のために植えられたのでしよう。

お寺といえば、銀杏の木。理由は、銀杏が燃えにくい木だからです。さて、この広濟寺の銀杏は、一体どのくらい古いのでしょうか？実はそこまで古くはないようで、前任職からは樹齢二百年と聞いた記憶があります。銀杏の樹齢は千年を超えるそうですから、これからも元気に伸び続けそうですね。(汗)。



広濟寺の銀杏は、線路側がメス、鐘楼堂側がオスになります。秋になれば、銀杏の葉の掃除と共に、銀杏の実の始末が大変です。お好きな方はぜひ拾いに来て下さいね。お待ちしております(笑)

千夏ちなつのきときときと日記

最近日々の寒暖差にやられています。少しくらいの体調不良であれば、自分のことになると放置の私です。子どもや家族のことになると、少しくらいの体調不良でも心配になり通院を勧めています。自分だけは大丈夫と思ってしまうのです。

去年の年末から若院は、度々声が出なくなるという声帯炎を患っています。お参りの際もご心配ご迷惑をおかけしております。今は通院と自分で体調管理をバッチリしているおかげでとても元気になりました。

私はというと、三日前から同じく声が出なくなりました。さすがに通院し大人しくしてあります。そして、日頃の体調管



理の大切さを改めて感じています…。

言い訳ばかりして、やらないといけないことを後回しにする心の弱い自分を見つめなおすきっかけとなりました。

自分だけは大丈夫とは思わず、私も毎日の「ガラガラうがい」だけは徹底したいと思えます。皆様も体調管理には気を付けて、一緒に暑い夏を乗り越えましょうね。

住職コラム

新緑も過ぎ、早や梅雨。台風のニュースも出ている昨今です。

お寺のカシワバアジサイも勢いよく畳面の広さで咲き出しました。また、樹木の生長は誠に早いものでケヤキやイチヨウなど一年で一メートル、二メートルあつという間に伸びていきます。

平成十五(二〇〇三)年に

鉄道線路側にあつた直径五〇センチほどのケヤキを根元から伐採しましたが、その後結構な空間が出来て太陽の光を迎えると、周辺の桜やモミジ数本が瞬く間に成長しました。先日若院が鉄道線路に支障ない範囲で枝落しをしていましたが、残りは高過ぎでちよつと難しそうです。

本堂前のイチヨウ二本も相当伸びてきました。本堂の一番上の棟瓦の高さを目安にして枝落としをしていましたが、いよいよのようです。

草刈りやら樹木の剪定など毎年変わらない光景ですが、いつも一人ではないんですね。親鸞聖人ご臨終の際のお言葉があります。

『一人居て喜ば、二人と思ふべし、二人居て喜ば、三人と思ふべし、その一人は親鸞なり。』

※一人いるときは二人、二人の時は三人と思ってください。うれしい時も悲しい時も、決してあなたは一人ではありません。いつもそばにこの親鸞がいますよ。

なまんだぶ 合掌





風呂敷で包んでみよう！ ～ 仏教婦人の集い ～

四月二十日(土)午後二時 教室を行いました。皆さんはより、広濟寺において仏教婦人の集いを開催しました。一年に一度の仏婦の集い。今年もたくさんの方々が参加くださり、楽しいひと時を過ごしました。

今回は、坊守による風呂敷

教室を行いました。皆さんは最近風呂敷を使っていますか？実はいろんな物を包めるんです。箱はもちろん、びんやペットボトルも風呂敷を使えば、オシャレなエコバックに。風呂敷文化の豊かさを再確認させていただきました。

休憩時間には、ケーキをいただきながらのティータイム♪ やっぱりこの時間が大切です。よね。

最後に、常国の専龍寺若院の麻生裕善さんによる「法話」能登半島地震における支援活動を通して、阿弥陀様の教えをお話しくれました。

さて、来年は何をしましょう？また皆さんアイデアを教えてください！



お知らせ

令和六年

永代祠堂経法要

六月三日(月)・四日(火)

午前九時半より

午後一時半より

御講師

五位組 教願寺

岡西 法英 師

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後二時より

※時間を変更しました

編集後記

先日からお寺線路側の木々の枝落としをしました。落ち葉で雨樋がすぐに詰まることもあり、ここぞとばかりに切り続けました。

そんな時、脚の裏から、グサアと鈍い痛みが。足裏を見てみると、一五センチほどの古釘がサンダルを貫いて、見事に刺さっているではありませんか。漫画のような刺さり方にビックリしましたが、すぐに引き抜いてみると、四角い和釘で、どうやらすぐく古い物のよう。錆びついており、ポロポロ崩れるほどでした。

お寺の歴史を鋭く感じさせていただいたことでした。

その後、病院に行ったのですが、どうやら足裏に破片が残っていたよう。結局、大病院送りになりました(泣)。